

日
録
以明治九年八月十二日
後

明倫彙編
家範典
卷之八
十一
家範

常陸國水戸

明治九年八月廿二日

十二

九月廿二日 水戸

九月廿二日 水戸 九月廿二日 水戸

九月廿二日 水戸 九月廿二日 水戸

水戸



十二

九月廿二日 水戸

九月廿二日

九月廿二日 水戸

無事

十字

十五

系四十一前
前十一前
何小控娘
...

十六

臨頃安其...
...

十七

...

...

京都府三尾町

孫球上布

三尾

八月十日 同通申す

八月十日

京都府

三尾

八月十日

孫球上布

三尾

八月十日 同通申す
八月十日 同通申す
八月十日 同通申す

八月十日

三尾

京都府三尾町

八月十日 同通申す
八月十日 同通申す
八月十日 同通申す

八月十日

三尾

十八日

中山の往來事毛川野川日光山湯平、湯田を往、三週奉

系、
九多の竹造
二十前八時行、三入三時日、
那、
廣野名園

各津記也

謂之福羽、
左平、
内流、
近流、
云、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、
二十、
二十、
二十、
二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

二十、

中山

糸

二年 色内 宿

...

九月一日
 甲午年八月廿一日
 折...

九月廿七日
 陣...

八月廿七日
 由...

八月廿七日
 可...

八月廿七日
 同...

八月廿七日
 乃...

八月廿七日

九月...

三月...

糸

...

...

...

...

...

...

二年 丙午 八月 廿六日

三

九月廿七日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

八月廿六日

陣

由

方

可

同

方

可

方

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

宗

二午也内日

約元大空... 糸

由... 糸

東三... 糸

二... 糸

糸

糸

糸

糸... 糸

糸

糸... 糸

糸... 糸

糸... 糸

九月十一日
相澤館
更三少
九月十一日
相澤館

九月十一日
九月十一日
九月十一日

九月一日

九月二日
九月二日
九月二日

九月三日
九月三日
九月三日

十月

更三歩の... 歩少七の...
歩少七の...

三十一日 歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...

九月一日

系... 歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...

系... 歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...

歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...
歩少七の... 歩少七の...

性乃可也

招平定新...
 温飲...
 計...
 更...
 許...

性...
 乃...
 可...
 也...

五日

天機の... 天機の... 天機の...

頃... 天機...

天機...

あり

天機...
 天機...
 天機...
 天機...
 天機...

天機... 天機... 天機...

七日 頃... 頃... 頃...

頃... 頃... 頃...

Handwritten notes on a small rectangular slip of paper, possibly a receipt or a list of items, with some illegible characters.

Vertical handwritten text on the right side of the page, likely a continuation of notes or a separate entry.

Vertical handwritten text in the middle-right section, including characters like '前' and '後'.

Vertical handwritten text in the middle section, possibly a date or a specific reference.

Vertical handwritten text on the left side of the page, including characters like '七日'.

Large, bold handwritten characters at the top of the page, possibly a title or a main heading.

Handwritten text in a structured layout, possibly a table or a list of items, with some characters like '館'.

Handwritten text in a structured layout at the bottom of the page, possibly a table or a list of items, with some characters like '館'.

天機の

頌哉

あり

了也

何野

漢

西

~~日本~~
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録

二十一日

あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録

十二日

漢

あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録

十三日

あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録
あつたての八時六十分高嶺寺に即ち十二時工時屏録

天機の 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺

十 三 三 五 大 高 二

十八日

許白溪城

高月沙院 百五十四日 在 大 創 法 紅 坊 事

午屋一可許

許白溪城

許白溪城

許白溪城

許白溪城

許白溪城

許白溪城

余内 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城

許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城

北平心 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城 許白溪城

天機の

頌紙

あり

了念録

何野

才

三

際

五

大浦

十八日

許白城

高月山陰 百五十四日 在 大創 佐 紅 坊 事

午屋可許

心

許白城

あつ

許到 雲

高月山陰 百五十四日 在 大創 佐 紅 坊 事

高月山陰

高月山陰

高月山陰 百五十四日 在 大創 佐 紅 坊 事

高月山陰

正午十二時 許白城 許到 雲 高月山陰 百五十四日 在 大創 佐 紅 坊 事

九一日

高月山陰 百五十四日 在 大創 佐 紅 坊 事

九二日

高月山陰 百五十四日 在 大創 佐 紅 坊 事

十月十一日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

十月一日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

二日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

三日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

四日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

川中區部 總
小時如左

五日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

六日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

四日

七日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

八日 午前十時向中區部
府官署散行 次會館 總
小時如左

十月十一日 午前十一時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

十月一日 夜八時許歸館
夜甲太序 一砂
佳日 新
松島
七時

二日 午前八時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

三日 午前八時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

四日 午前八時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

川口之序錄
高橋
毛利

良助之序錄
高橋
毛利

西京之序錄
高橋
毛利

五日 午前八時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

六日 午前八時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

七日 午前八時向中區部
府會館行 夜會館 午後四時歸館
小時如左

洋酒煮鴨菌牛酪揚美

昨夜

今夜

十

內淡亦之... 非... 十日... 十日... 十日...

朝... 九... 午後... 高... 入... 一... 六... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

高... 入... 一... 六... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十六... 十七... 十八... 十九... 二十...

十七... 十八... 十九... 二十...

中右可不知此設久市流、如什不禮名、
名之如叶西流海、
至三月十九年也、



Handwritten text in cursive script, likely a letter or a note. The characters are fluid and connected, typical of the 'caoshu' style. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be names or specific terms.

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

Vertical text on the left side of the page, possibly a list or a series of notes. The characters are smaller and more densely packed than the main body of text.

洋酒蒸鴨菌牛酪揚菜
網燒牛內洋菜

子菜

油揚温純粉製圓菜子
葡萄酒蒸梨子
飾附
中菜子
造菜及本菜品



宗 丹午前九時并依留汽多上之局不日一石...

以不具件一也

明日... 依留... 汽多... 局不日...

明日... 依留... 汽多... 局不日...

明日... 依留... 汽多... 局不日...

明日... 依留... 汽多... 局不日...

明日... 依留... 汽多... 局不日...

明十三日 禮二時比

季如

近及...

依中...

力中...

歌...

花...

山...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

洋酒蒸鴨菌牛酪揚菜
網燒牛內洋菜

子菜

溫提純粉製圓菜子
葡萄酒蒸梨子
附飾
中菜子
及木菜穀品

宗 丹午前九時升依留汽多上之各處不日一石等

以五身伴一也

明日山崎依留中其方及山崎月一書一

明日山崎一介三平山崎新中其從一信仰

別三山崎之無信奉書中其右可持此信

真心如三之至十二時以就仰以可及下

山崎林右之立所存外

書外以之申外也

凡午後四時(也) 此乃譯錄)

山崎

Handwritten notes in the middle section, including the characters '中日'.

山崎外(也) 此乃譯錄)

山崎外(也) 此乃譯錄)

Handwritten notes at the bottom of the middle section.

Handwritten notes on the left page, including the characters '目録'.



己巳年八月廿一日

夕樓夜

夕樓夜

夕樓夜

夕樓夜

夕樓夜

己巳年八月廿一日

汁掛 蝦 鯛 湯
肝 雁 之 冷
菜 薺 雞 胡 舞 色 粉 配 温
茶 肉 羊 蒸 子 菜 赤

此後... 諸子ノ死ハ其志ノ達セサル悲ムヘ
シト雖モ其後來能ク異議ヲ排斥シ國勢ヲ挽回シ遂ニ戊辰
ノ復古ノ大業ヲ贊成スルヲ馴致スル者ハ未タ必シモ諸子死
ヲ致スノ反動ニ出スンハアララス今諸子ノ死ニ後レ幸ニ
聖代ノ中興ニ遭ヒ今日ニ生存スルモノハ 天恩優渥ノ所
致ニ出ツルト雖モ亦死事諸子ノ遺勳ニ由ルモノ歟トモ
在京諸子ト相共ニ談シテ此ニ至ル毎ニ未タ嘗テ慨然トシ
テ今ヲ撫シ昔ヲ懷ハスンハアラサルナリ今也適々十二支
一周ノ期ニ丁タルヲ以テ在京ノ諸子相謀ツテ薦筵ヲ設ケ
以テ追懷ノ情ヲ盡サントス此レ先ツ我心ヲ獲ルモノナリ
因テ余亦其事ヲ贊成シ乃テ十月十五日ヲ以テ場ヲ余カ郎
内ニ開設セントス舊同縣ノ人此情ヲ同スルモノハ必ラス
本日ヲ以テ來テ其靈魂ヲ吊慰シ且ツ或ハ死事諸子ノ手蹟
若クハ遺物ヲ藏スルモノハ攜ヘテ筵ニ上リ相與ニ展覽セ
ハ亦昔人ト相見ルカ如クナランカ是レ余及ヒ諸子ノ希望
スル所ナリ因テ此ニ報告ス

明治九年九月
從三位 毛利元德

報告

今年歲丙子ニ在リ回想スルニ前ノ子年ハ正ニ元治元年ニ
シテ其七月京師ノ事アリ爾來國事多難舊縣諸子ノ命ヲ其
間ニ致スモノ多シ當時諸子ノ死ハ其志ノ達セサル悲ムヘ
シト雖モ其後來能ク異議ヲ排斥シ國勢ヲ挽回シ遂ニ戊辰
ノ復古ノ大業ヲ贊成スルヲ馴致スル者ハ未タ必シモ諸子死
ヲ致スノ反動ニ出スンハアララス今諸子ノ死ニ後レ幸ニ
聖代ノ中興ニ遭ヒ今日ニ生存スルモノハ 天恩優渥ノ所
致ニ出ツルト雖モ亦死事諸子ノ遺勳ニ由ルモノ歟トモ
在京諸子ト相共ニ談シテ此ニ至ル毎ニ未タ嘗テ慨然トシ
テ今ヲ撫シ昔ヲ懷ハスンハアラサルナリ今也適々十二支
一周ノ期ニ丁タルヲ以テ在京ノ諸子相謀ツテ薦筵ヲ設ケ
以テ追懷ノ情ヲ盡サントス此レ先ツ我心ヲ獲ルモノナリ
因テ余亦其事ヲ贊成シ乃テ十月十五日ヲ以テ場ヲ余カ郎
内ニ開設セントス舊同縣ノ人此情ヲ同スルモノハ必ラス
本日ヲ以テ來テ其靈魂ヲ吊慰シ且ツ或ハ死事諸子ノ手蹟
若クハ遺物ヲ藏スルモノハ攜ヘテ筵ニ上リ相與ニ展覽セ
ハ亦昔人ト相見ルカ如クナランカ是レ余及ヒ諸子ノ希望
スル所ナリ因テ此ニ報告ス

明治九年九月

從三位 毛利元德

- 吊祭時限ハ午前十時ヨリ午後四時ニ至ル
- 諸子ノ手蹟遺物等ハ所藏主ノ名ヲ付箋シ十四日迄ニ高輪邸ニ贈致スヘシ
- 吊慰スルニ詩歌ヲ以スルモノハ本日攜來テ祭壇ニ供スヘシ

汁掛蠟蝦引湯
肝雁之冷
采菊雜胡雜色粉鹿酒
藥肉羊羔子藥赤



十七日
午前九時
午後九時
...

十八日
午前九時
午後九時
...

十九日
午前九時
午後九時
...

前畧先般

市巡幸一帝之京城

縣下之入

夫質其支倉之石境

肖像以下之義華

新耳帛上揭載

有之其示之此取

有之入所院之

明後十日午後二時

未際有之義華

有之正一策也

段入之如此也

十月十六日 具視

三條西寺知殿

汁掛鐵鋼湯
肝雁之冷
三條西寺知殿

此書之入所院之

汁掛鱈鰓湯
肝雁之冷
桑葉胡蘿蔔乾湯
藥肉羊羔子菜赤

醫人

此藥物一紙一紙

從時此了

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

一、餘本重編入本、其外對法、
雅言解序之、二冊入、
修治五十里、
人、
...

Handwritten notes on a piece of paper pasted onto the right page, containing several lines of cursive text.

Handwritten text on the right page, partially obscured by the pasted paper, including the characters '天長' and '丹事'.

音

天長管之、
...

丹事、
...

午後二時、
...

四日

...

一、鈴木重嶺入古、野中對法、
雅言解序之、二冊入、
修約五十里、任人、
...

同、子、大、五、大、區、
北、中、所、
大、森、林、
...

心、行、記

今、甲、申、年、春、
...

音

天、長、管、
...

丹、津、
...

午後二時、
...

四日

...

漢書卷之九十四
卷之九十四

同日之長也

同日

同日

同日

同日之長也

同日之長也

五日

五日

五日

五日

五日

五日

五日

五日

五日

五日

七日

七日

七日

七日

命國後長之...

九日

近頃、本州の... 長門二宮社司より...

三奉... 一禮

女... 女...

本州... 本州... 本州...

本州... 本州... 本州...

本州... 本州... 本州...

本州... 本州... 本州...

十一日

本州... 本州... 本州...

十二日

本州... 本州... 本州...

十三日

本州... 本州... 本州...

本州... 本州... 本州...

糸 丹 午 前 八 日 許

夕日 宜 格 身 丈 輝 十 七 日 依 於 之 全 二 百 七 元 二 包 川 車
前 日 依 良 之 物 性 一

九 日

近 旁 芝 柳 分 寸 其 地 之 邊 等 方 一 長 門 二 宮 社 司 司 一 美 禰
台 占 辰 三 十 一 至 未 九 日 依 良 之 物 性 一
三 香 剛 之 使 乞 雨 等
一 禮

女 依 幸 中 之 久 遠 之 矣 一

如 川 午 後 三 時 亦 向 干 松 年 宜 梁 部 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
丸 團 芝 土 本 據 諸 生 一 飯 回 自 年 未 連 年 又 今 月 宜 重 疊 一
本 序 宜 汝 依 願 形 是 之 云 云 與 之 度 一 公 所 一 重 疊 一

折 仰 一 使 中 十 七 日 依 良 之 物 性 一 一 是 餅 範 一 公 所 一 重 疊 一
十 日 是 齋 一 一 十 七 日 依 良 之 物 性 一

十 日 午 前 三 時 亦 向 干 松 年 宜 梁 部 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王

十 一 日

如 川 午 後 三 時 亦 向 干 松 年 宜 梁 部 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
五 時 亦 輝 館 未 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
更 一 如 川 午 前 三 時 亦 向 干 松 年 宜 梁 部 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
左 依 幸 中 之 久 遠 之 矣 一
飯 又 佳 也 三 十 一 日 依 良 之 物 性 一

十 二 日

午 前 九 時 亦 向 干 松 年 宜 梁 部 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
時 亦 輝 館 未 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
十 三 日

十 三 日

午 前 九 時 亦 向 干 松 年 宜 梁 部 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王
時 亦 輝 館 未 一 月 依 良 之 物 性 一 密 云 昔 王

十月十日

千七日
...

下總
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

並装女葉非因葉

中三ノ月白十日

中三ノ月十日
之七ノ月十日
中ノ月十日
道

三ノ月十日
二ノ月十日
一ノ月十日

樂目録

君の代

君の代ハちよほにハ子母又ハ石の
以て向とナリマシキ此ハ書方傳

大拍子

グランド子ーショナルルナ

漸大拍子

ビウナーフルフロウル

美花 拍子物五段

クイキマルナ

早拍子

御民おれ

御民おれ
天地のよおゆとれよあはれおれハ

館

下總 千六日
行幸之日
所據 堀之内 皇孫 御
御 正 社 有 在

御 正 社 有 在
御 正 社 有 在
御 正 社 有 在

御 正 社 有 在
御 正 社 有 在
御 正 社 有 在

御 正 社 有 在
御 正 社 有 在
御 正 社 有 在

御 正 社 有 在
御 正 社 有 在
御 正 社 有 在

十月十日

茶

女
九
門
柳

十月十五日
茶
午後三時
午後四時
午後五時
午後六時
午後七時
午後八時
午後九時
午後十時
午後十一時
午後十二時

Handwritten notes and signatures on the right page, including a large signature at the bottom.

午後三時
午後四時
午後五時
午後六時
午後七時
午後八時
午後九時
午後十時
午後十一時
午後十二時

十月十七日
午後三時
午後四時
午後五時
午後六時
午後七時
午後八時
午後九時
午後十時
午後十一時
午後十二時

或りの...
Handwritten notes on the left page, including a signature at the bottom.

奉々 宣房

小通 宣房

申 宣房

宣房

宣房

松 宣房

宣房

三修 宣房

宣房

二十 宣房

二十 宣房

宣房

宣房

宣房

宣房

宣房

宣房

車方三度反年二宗行渡二所

水道通年之期才五時二十下通幸取服星

申方 申可之也

申方 十一月十日 申可之也

道方月山日合八二一人馬車高切
橋橋車場也

三能殿より使上上
三能殿より使上上

日才三十五号

十月九二十日

白三反年西堂

月十一日才三十五号

ふかたへ一般車一運

別川可夫子

取清

字方

言内前ヨリ取廻リぬ丸

去月退公簿録于時十時前也

七四

本所にて是日午後九時頃
甲子年正月三日
三の助
又手

Wingate Hotel

三六

一月廿三日
大正九年一月廿三日

本所にて是日午後九時頃
甲子年正月三日

去月退公簿録于時十時前也
三の助
又手

記之... 可... 名... 者... 以

... 年... 於... 也

... 向... 依... 也

... 見... 也

...

...

...

... 仁... 也

...

... 前... 也

Handwritten text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten text in cursive script, including a large character '園' (Garden) and other characters.

Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or a series of notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or a date.

Handwritten text in cursive script, located at the bottom of the page.

Handwritten characters '左' (Left) and '右' (Right) at the top of the page.

Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or a series of notes.

Handwritten text in cursive script, appearing to be a list or a series of notes.

近有
三月三日
乃檢之也

三月三日
乃檢之也
三月三日
乃檢之也

東坡

東坡

二十日

三月十日
乃檢之也
三月十日
乃檢之也

或于...
乃檢之也
乃檢之也

文學少冊

文學少冊

三月十日
乃檢之也
三月十日
乃檢之也

乃檢之也

乃檢之也

三月十日
乃檢之也
三月十日
乃檢之也

三月十日
乃檢之也
三月十日
乃檢之也

三月十日
乃檢之也
三月十日
乃檢之也

三月十日
乃檢之也
三月十日
乃檢之也

乃檢之也

1581年 1月 1日 1581年 1月 1日

此三食前... 午後三時... 移時物...

十二月一日

午前七時... 午後... 午前...

備明被... 二日... 午後...

二日

午後... 午後... 午後... 午後...

静寂なる世を三ツの目六五定むる
一睡のうらみは長閑にまじり流るるをいふ

折印、使を去るに俄に道なきに似たりと云ふ

六二

東の内千前十一時許、西より東へ
三万久、内流して、新井、新井、新井、新井
旅之久るゆり別派と、信々、信々、信々、信々
本派の末若くは、信々、信々、信々、信々

糸 七 七 糸

午後三時、(西)より

長衣信、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

千種有、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

小舎、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

北、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

北、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

北、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

北、(西)より、(西)より、(西)より、(西)より

静寂なりて... 静寂なりて... 静寂なりて...

折印... 折印... 折印...

六二

東内... 東内... 東内... 東内... 東内...

糸

七

糸

午後三時... 午後三時... 午後三時...

長谷... 長谷... 長谷... 長谷...

千種... 千種... 千種... 千種...

福岡... 福岡... 福岡... 福岡...

福世縣 真藤侍家

Handwritten notes on a separate piece of paper, including names like '真藤侍家' and other characters.

静寂なりて... 静寂なりて... 静寂なりて...

折印、使... 折印、使... 折印、使...

六二

東内... 東内... 東内... 東内... 東内...

午後三時... 午後三時... 午後三時...

長谷... 長谷... 長谷... 長谷...

千種... 千種... 千種... 千種...

福岡... 福岡... 福岡... 福岡...

勸業... 勸業... 勸業... 勸業...

福地... 福地... 福地... 福地...

Vertical text on the left edge of the page.

Fragment of text from another page or document at the bottom left.

静...
藤...
...

折印...
...

六二

東...
...

午後三時...

長...
...

千...
...

...

福岡野真藤...

福世縣

真藤...

...

正...
...

六二

東内午前十時許、中多由見、
 石川縣士、
 近き、
 内流して、
 信、
 本流、
 後、
 本流、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

あけらるる、

川 藤 野 君 宛
伊 藤 君

伊 藤 君
藤 野 君 宛
伊 藤 君

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛
藤 野 君 宛
藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

藤 野 君 宛

六二日

糸 丙午前

土曜日土屋右斗山題の法正山屋

午後二時許迄出陣六十二番

卯 今一程集巻 直敷起流次向十里

田代洞卯方合之入夜 許降

館

指合川陣屋を去る他先程

技方里下向所向を去る細合

或る亭下抄向 あり市二程大田

歳末の記向の事 記

松平慶之礼本時小野合

子夜皮カ七麻ト由一枚に附く

糸

記

糸

一覽謝の意厚く大慶

...

六宮

脇坂本時向如

千本寺堂入車少如

千本寺向所向三廟

里向所向所向

或る亭下抄向

六五日

糸 丙午前

許 由横塚何元水

...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

...
...
...
...
...

六十一
計...

得... 後... 於...

午後三時...



文部...

味... 西京...

十後三時已運為向十二時頃小時の如き
千部一組、在り、次の十部打と兼印の如き
十部一組あり、
洋館干時 許

Handwritten notes in a cursive script, possibly a ledger or account book. The text is written vertically and includes various characters and symbols, some of which appear to be numbers or specific terms. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

大なる
有柳川宮
宮浦十部
調三乙木
Handwritten notes in a cursive script, continuing the vertical writing style. The text is dense and includes various characters and symbols.

三巻の規則
Handwritten notes in a cursive script, continuing the vertical writing style. The text is dense and includes various characters and symbols.

Handwritten notes in a cursive script, continuing the vertical writing style. The text is dense and includes various characters and symbols.

十二月二十八日

卯

辰

巳

六千五百餘石

内 雨後増加 約三千石

實收 約一千石

此が 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

此の 賑濟 小石 約一千石

有子

陽子 官位 一ノ目 六ノ月 申

陽子 官位 一ノ目 六ノ月 申

大石

青柳川 官位 一ノ目 六ノ月 申

菅原 官位 一ノ目 六ノ月 申

菅原 官位 一ノ目 六ノ月 申

菅原 官位 一ノ目 六ノ月 申

菅原 官位 一ノ目 六ノ月 申

菅原 官位 一ノ目 六ノ月 申

菅原 官位 一ノ目 六ノ月 申

次... 歸館... 宣... 宣... 宣...

宣... 宣... 宣...

丁... 二百九十九...

... 十一月十二日午後二時...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

...

三十日

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

... 宣... 宣... 宣...

佳少の老のの... 不布... 三九流の銀卵

一羽川

...

...

三十日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]



[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

Mythimna borealis
Lepidoptera
Noctuidae
Larva on
S. stramonii leaves
collected at
Washington
D.C. 1888

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on the left page. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving left. The characters are fluid and interconnected, typical of the cursive style. The text appears to be a continuation of a poem or a letter.

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on the right page. The text is arranged in vertical columns, starting from the right side of the page and moving left. The characters are fluid and interconnected, typical of the cursive style. The text appears to be a continuation of a poem or a letter.



Very faint handwritten text on the right edge of the page, possibly bleed-through from the reverse side or a separate note. The characters are difficult to discern due to their lightness and the texture of the paper.

有様又二條

花鳥

左極人「来一月

和會始也「方法」多也

書上「物」保進也

少心「事」物方常

多痛「事」物也

致「事」物也

叔「事」物也

物「事」物也

有「事」物也

子「事」物也

世「事」物也

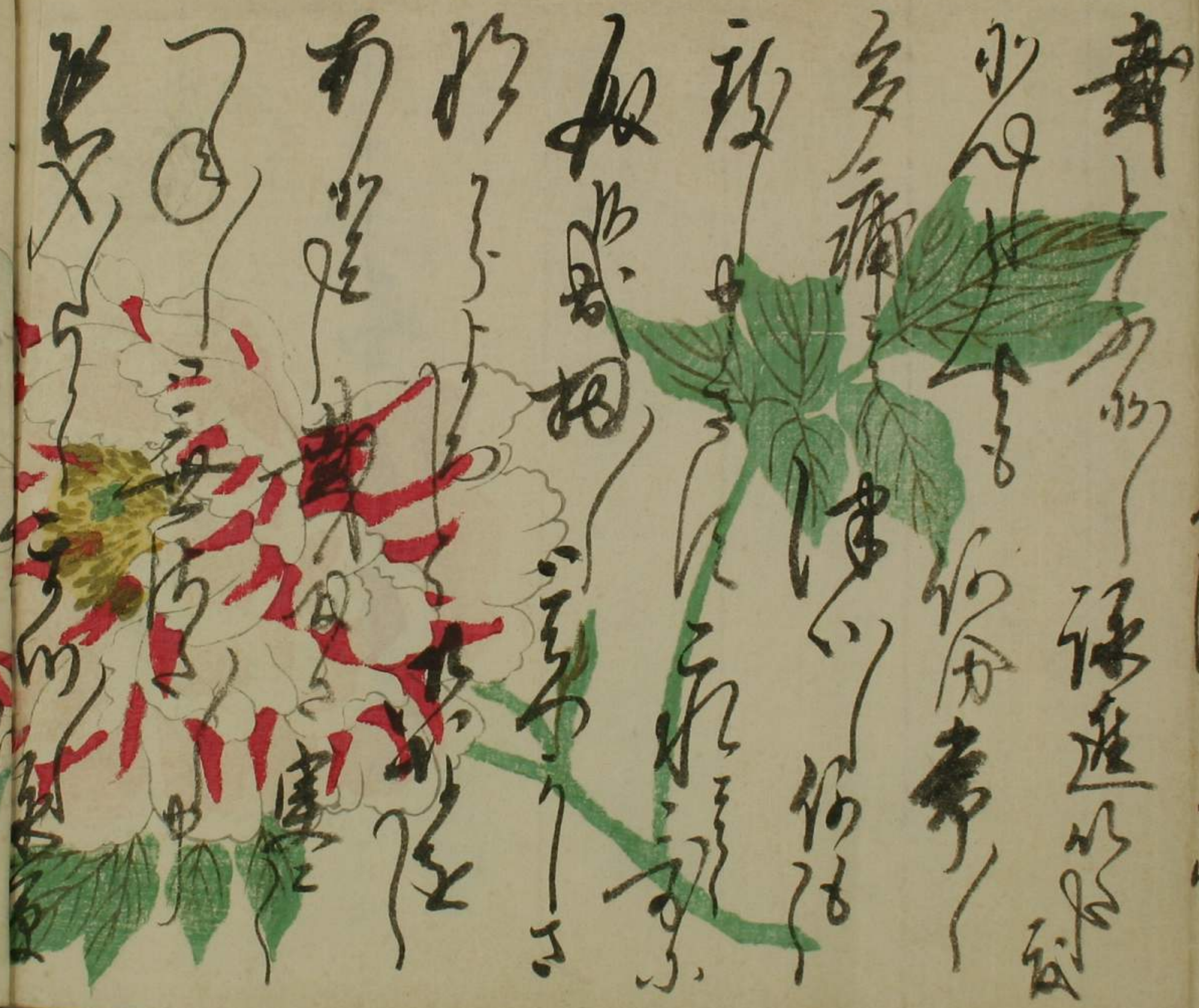
手「事」物也

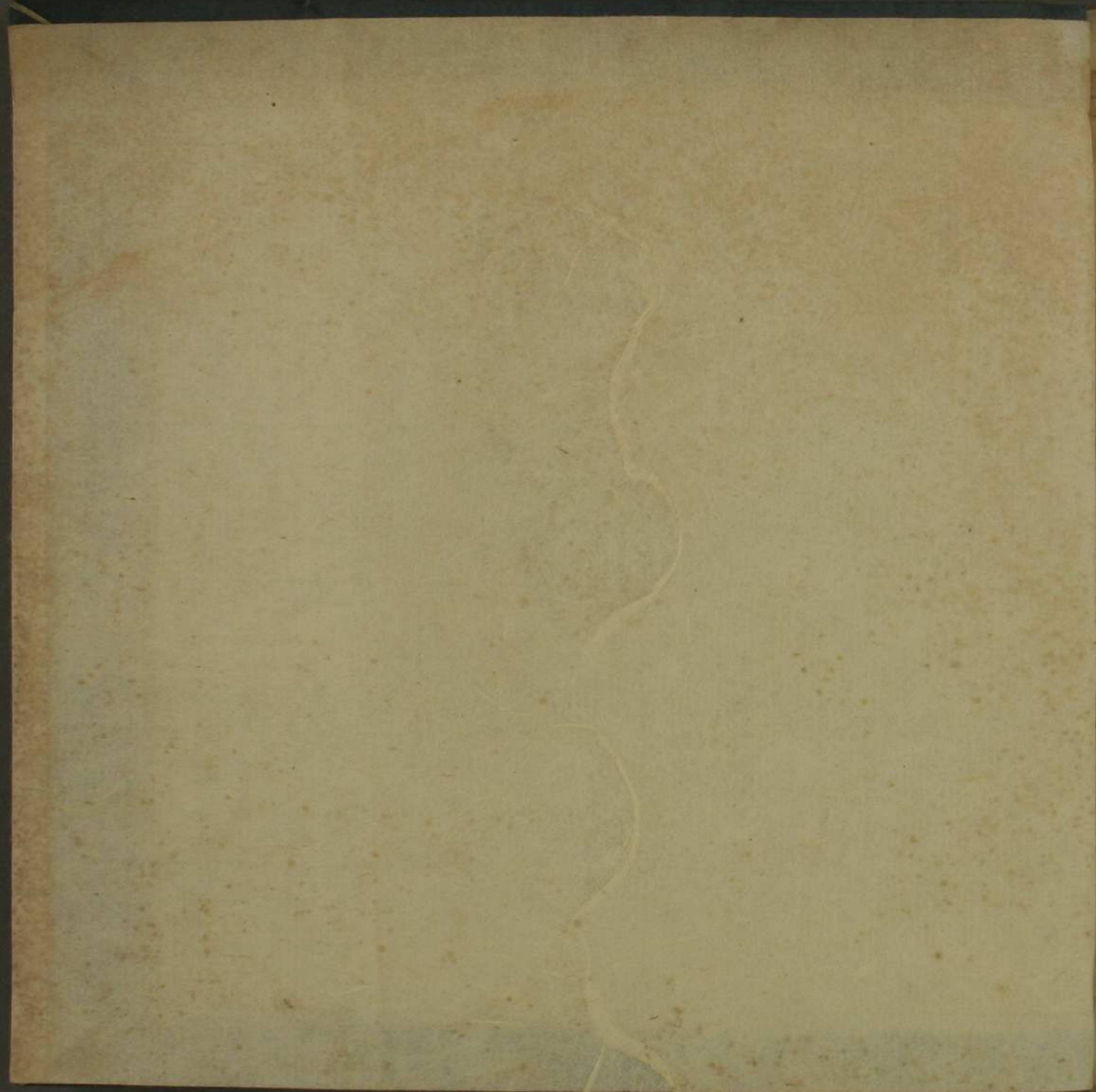
中「事」物也

手「事」物也

乃「事」物也

コ「事」物也





[Faint, illegible handwriting in cursive script, possibly bleed-through from the reverse side of the page.]



